資料１

議事項目

（１）多職種連携研修会の詳細や役割分担について

ア　詳細資料について　資料２参照

内訳：

・　研修概要書	１ｐ
・　タイムテーブル	２ｐ
・　スタッフ分担表	３ｐ
・　進行読み上げ原稿（司会・事務連絡用）	５ｐ
・　～グループワークに関するお願い～（説明用）	８ｐ
・　グループワークで使用する具体的な事例	１０ｐ
・　同　模造紙元図	１１ｐ
・　次第	１２ｐ
・　アンケート（研修会終了後）	１３ｐ

イ　当日の作業部会メンバーの役割分担について

・　「スタッフ分担表」に基づき各役割の動きや流れの確認

～　資料２の３ページ（スタッフ分担表）参照

ウ　ファシリテーター会議の開催について

・　日　時：平成２９年１月２６日（木）　１８：３０～

・　場　所：函館市医師会病院５階講堂

・　参集者：「スタッフ分担表」（資料２：３ｐ）参照

エ　出席者名簿等について

・　参加者の取りまとめ状況について

（２）次年度以降の研修テーマについて

ア　これまでの研修テーマについて

・　平成２７年度　第１回研修会テーマ　～　入退院支援

・　平成２８年度　第２回研修会テーマ　～　連携

→　①　「今後実施して欲しい研修内容」
（資料３参照：※第１回研修会のグループワークによる資料）

②　多職種研修会に関するアンケート
（資料４参照：※部会長から作業部会各メンバーに実施したアンケート結果）

上記①，②を反映させたものとして，研修計画（案）を策定

イ　平成２９年度研修計画について（案）

テーマ：「相互理解」

（視点）

医療と介護をシームレスに提供するためには，医療や介護の関係多職種が日頃からお互いに知り合っている顔の見える関係が重要である。

多職種が相互の機能の理解や役割分担を通じ連携するためには，どのような取組を行うことが必要と考えられるか。

また，その際，異なる職種間での相互理解を促進するためにはどのような手立てが有効と考えられるか。

①　医療・介護関係者に対する研修

(ｱ) 多職種連携研修
- 各団体の協力を得ながら，関係多職種が幅広く参加する比較的大規模な研修。複数の会場での同時開催も検討
- 「顔の見える関係」作りを目的として研修終了後に懇親会を開催
- 内容に関しては，講義形式、参加型など要検討

(ｲ) 医療関係者への介護に関する研修，介護関係者への医療に関する研修
- 職種を絞り，５０人程度の比較的小規模な研修。複数回の実施検討

＜医療関係者に対する研修の例＞
- 介護保険制度の概要，介護保険で提供されるサービスの種類と内容，ケアマネジャー等の業務，地域包括ケアシステムを推進するための取組　など

＜介護関係者に対する研修の例＞
- 各医療機関が担う機能（病院機能など）の相違などへの理解　など

(ｳ) センターの役割の周知・啓発
- 上記(ｱ)または(ｲ)と組み合わせた実施を検討
- 函館市における医療と介護の連携の現状と問題意識の解説
- 連携におけるセンターの役割の解説
- センター職員による説明（出前講座形式等での対応）

②　市民への普及啓発
- 地域住民向けの，在宅医療と介護の関わりに関する解説や講演
- センター職員による説明（出前講座形式等での対応）

論点　平成２９年度研修計画（案）について

（３）研修情報の一元化と提供の方法について

ア　研修情報の収集と提供の流れについて

・　毎月末に，センターから各団体（事務局，各団体の研修担当者等）に対して，研修開催情報を照会し，センターのホームページへの掲載希望の確認を行います。
（この仕組みが一定程度浸透した後には，各団体から自主的に掲載希望を申し出ていただくこととします。）

・　掲載希望の手続きにあたっては，所定の書式（資料５参照）を作成していただくほか，各団体が作成するチラシなどを提出していただくこととします。

・　センターのホームページに，各団体から収集した研修開催情報を一元化して掲載し，情報提供します。

（４）「函館市在宅医療・介護連携マップ」の活用について

・　イメージ図　～　資料６参照

・　公開時期：平成２９年２月１日を予定

・　公開方法：函館市医療・介護連携支援センターのホームページ（※）上に公開　　※　アドレス（予定）http://hakodate-ikr.jp